

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長
 デイリーC.K.ホァン
 台湾台北



第1314回 例会 平成27年6月16日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 我等の生業 馬場秀則ソングリーダー

■ 会長談話 小川秋實会長



ロータリーでは、リーダーシップという言葉をよく使います。ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー・リーダーシップ® 研究会 (RLI)、クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) などです。リーダーシップの日本語訳は、指導者、あるいは指導力です。ロータリーにおけるリーダーシップは、会社や公共的な組織におけるリーダーシップとは異なります。ロータリーは、固定したリーダーが指示・命令する組織ではありません。毎年リーダーが交代します。会員は平等対等で、会員全員が、必要に応じてリーダーシップを発揮する必要があります。

リーダーシップには明確な定義がありません。一昔前まで、リーダーシップは、カリスマ性や人をひきつける能力などを持った一部の人に限られた能力だと思われていました。ちなみに、カリスマはギリシャ語で、ある種不思議とも言える魅力によって人々をひきつけ心酔させる力です。歴史的には、キリスト、ナポレオンなどが該当しますが、最近では、カリスマ美容師など、気軽に使われています。リーダーシップは、現代ではカリスマ性のある限られた人の能力ではなく、誰でも身につけ、発揮できる能力だとされています。

経営学の父といわれたオーストリアのピーター・ドラッカーは、「リーダーシップはインテグリティ (integrity) によって発揮できる」と言っています。英語のインテグリティには、ピッタリした日本語がありません。辞典には、「誠実であるとともに強い倫理感を持っている状態で、正直とか誠実とかよりワンランク上の状態」を言うことがあります。

このインテグリティは、ロータリーの中核的価値観の一つです。中核的価値観とは、ロータリーでは、何を優先させ、どのような行動を取るかの指針で、奉仕、親睦、多様性、インテグリティ (高潔性)、リーダーシップの五つです。日本のロータリーではインテグリティを高潔性と訳しています。ある有識者は、「インテグリティは、リーダーが具えるべき人徳・人間力」だと言っています。私たちロータリアンは、人徳・人間力を鍛えることによって、インテグリティを高め、リーダーシップを身につけるようにすべきだと思います。

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP)は、クラブ自体を魅力ある、生き生きとしたクラブへと絶えず変えて行く努力をすることです。当クラブは、CLPに沿って、何年も前から改革を進めてきましたが、やり残していることがあります。国際ロータリーが推奨する最初の検討課題は、3年ないし5年間にわたるクラブの長期目標を立案することですが、残念ながら、これは実現していません。また、地域社会のニーズを知ることや、近隣クラブとの共同奉仕プロジェクトなども未実施に終わったのは、会長の責任だ

次頁へ続く

と反省しています。クラブの活性化に、すぐに役立つような企画としては、新入会員からクラブの第一印象を聴く、全会員が改めて1-2分で自己紹介する、他クラブの例会等へ出席した印象を聴く、例会・奉仕プロジェクト・行事に友人や家族を招く、などがあります。次年度に実現することを期待しています。

■ 皆出席祝い

- ・池田幸平会員・伊澤和男会員・伊藤幸明会員・小川秋實会員・唐澤千明会員
- ・唐澤稔会員・小向誠一会員・清水吉治会員・下井達典会員・鈴木一比古会員
- ・田中洋会員・橋場正尚会員・馬場秀則会員・矢島宏会員・矢野昌史会員



■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 学生と混じってテニスを2試合かろうじてやることができました。三澤会員の卓話を期待しています。
- ◆三澤耕太 本日の卓話、大変緊張しておりますが宜しくお願いします。
- ◆池田幸平 苦節2年、修行を重ねようやく復帰しました。ゴルフの話です。次に歌の話です。池上さんにカラオケでは徹底的に打ちのめされました。
- ◆橋場正尚 6月は歯の衛生週間でした。歯は健康の入り口です。大切に。
(発表 伊藤幸明委員長)

■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・6月11日(木) インターアクトクラブ顧問との打合せ会の報告 矢野昌史青少年奉仕委員長



議題「留学生との交流会(9/12~13開催)」について

出席者：池田次期国際奉仕委員長・藤澤同副委員長・矢野青少年奉仕委員長・下井同副委員長

IAC顧問 伊藤先生・渋谷先生

1、地区インターアクト国内研修の地区への申請書作成

- ・研修先は高遠青少年自然の家で1泊2日で行う。参加人数は約60名の予定。
- ・研修内容～留学生より、外国の文化を教えてもらい、又インターアクト生は日本の文化を伝える。

2、地区へ補助金申請のための予算立てを行った。総予算額460,000円予定。

・6月13日(土) 信州農林科学振興会 教育研究等助成金贈呈式、交流会の報告 池田幸平次期国際奉仕委員長



6月13日に信大留学生への教育助成金贈呈式と交流会が信大であり、次期中川会長ほか小川会長、唐澤千明会員、下井会員、三澤会員そして私が出席して来ました。贈呈式では壇上で中川次期会長が挨拶され、今年度の留学生に助成金の授与を行いました。我がクラブの留学生は農学部2年生、女性のベトナムのグエンティー ハイ アンさんです。日本語が堪能で素晴らしい留学生です。我がクラブの助成を受け、学業に励んでもらいたいと思います。皆で応援しましょう。午後からは交流会が行われ、留学生の郷土料理も復活し、会話も盛り上がり楽しい交流会でした。最後は私の万歳で幕となりました。

・6月14日(日)・15日(月) 分水RCとの友好事業打合せ会の報告 平澤理次期親睦活動・友好委員長



分水RCとの友好事業打合せ会を6/14(日)～6/15(月)に妙高市で行いました。分水からは藤田さん・川崎さんが、伊那中央からは中川さん・小向さん・矢野さん・田中さん・大谷さん・平澤が参加しました。

その中で親睦旅行の日程・場所等が話し合わせ、日程が10/25(日)～10/26(月)と決まりました。場所は東京方面でこの旅行の一番の目的は、港区芝の増上寺に参拝し法話を聞くということです。他の見学場所はこれから決めて参ります。日程を合わせて頂き多くの方の参加をお願い致します。

■ 出席報告

会員数34名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者19名 事前メイク3名
出席率75.86% 前回出席率 修正なし (発表 熊谷健委員)

■ 卓 話

三澤耕太会員



諸先輩の皆様の前で卓話という事で緊張していますがよろしくお願ひします。日本列島は数々の自然災害に襲われていますが、こうした災害直後の備えをして生活物資、生活空間、エネルギーの確保が最低限必要と言えます。

一般的に市町村でも災害時に利用する学校等の避難所について取り決めがされているが避難所は不足がちで、水、食料、エネルギー等の備蓄も問題があります。中越地震や阪神淡路大震災などにおいても、分散型エネルギーとして特徴をいかんなく発揮し点検・復旧が速やかに行われ、避難所や仮設住宅においてもLPガスは調理給湯、暖房に貴重なエネルギーとして活躍している。

一般のご家庭のLPガス機器でも様々な安全に使われる様できている。マイコンメーターやヒューズコック、最近ではSIセンサーコンロなどもし不測の事態になれば緊急遮断する構造になっている。

避難所には災害対策バルクユニットやLPガス発電機が必要です。災害時なら残量次第では70人分を約5日間しのぐ事ができる。こうした事からLPガスの利便性いかし様々の対応ができるエネルギーである。

終わりに我々LPガス事業者は各自治体と災害協定を結び、広く周知、活動していき防災対策を図る検討を重ねています。今後とも安心安全をお届けできるよう業界一丸となって取り組む所存です。ご清聴有難うございました。

■ 次年度委員会

中川博夫会長エレクトより挨拶



■ 点 鐘

13:30

次回例会

6月23日(火) 点鐘 18:30 場所 海老屋料理店
今年度最終夜間例会